

平成 30 年 5 月 24 日  
江戸川区立平井小学校

## 平成 30 年度 小体研 体育的活動部会① 部会記録

### 1 担当常任理事 紹介・挨拶

江戸川区立平井小学校 校長 山下 靖雄 先生  
千代田区立番町小学校 校長 浅岡 寿郎 先生  
連雀学園三鷹市立南浦小学校 校長 藤原 和彦 先生

挨拶 山下校長先生より

- 体育的活動領域において「三つの資質・能力」をどう捉えるか。
- 体育的活動領域ならではの学習過程のイメージを部会全体で共有し、それに対する教師のサポートを考えていくことが大事。
- 体育的活動が目指すところは、子どもたちが自ら集まって遊びを考える「創造する」という段階。

### 2 自己紹介

(省略)

### 3 組織について

- 部長・・・・・・・・梅林 伸幸 (杉並区立桃井第三小学校)
- 副部長・・・・・・・・才勝 貴博 (小平市立第七小学校)、清水 大翼 (中央区立常盤小学校)
- 実証活動・・・・・・・・金子 雅志 (足立区立足立小学校)
- 記録担当・・・・・・・・庄子 博史 (中央区立佃島小学校)、遠山 信愛義 (江戸川区立平井小学校)  
横山 真帆 (江戸川区立平井小学校)
- プレゼン担当・・・・矢古宇 寛 (中央区立明石小学校)
- 研究推進担当・・・・雨宮 聖路 (三鷹市立南浦小学校)、渡部 勝敏 (昭島市立成隣小学校)
- 庶務担当・・・・・・・・桑原 優介 (大田区立糎谷小学校)、大久保 真実 (江戸川区立西葛西小学校)
- 会計担当・・・・・・・・杉山 和美 (荒川区立第五峡田小学校)

### 4 昨年度までの研究と今年度の研究について

- 児童が主体的・協働的に運動遊びに取り組むための手立てとして、体育への多様な関わり方のうち「支える」の視点から、児童がプレイリーダーとなって運動遊びを企画・実施する研究を行った。

(質問 1) プレイリーダーの打ち合わせの時間をどう確保するか。

- ・(昨年度、実証活動校では、) 休み時間にプレイリーダーが自主的に打ち合わせをしていた。  
・休み時間の打ち合わせは、遊ぶ時間が無くなってしまうことになるため、特活の時間に行うの

がよいかもしれない。

(質問2) 昨年度は、プレイリーダーを児童が行う研究を行っていたようだが、今年度は高学年に限らず、どの学年の児童でもプレイリーダーになるような研究を行うのか。

→・実証活動校の活動の実態に合わせた計画をするため、どのような形で活動を研究するかは決まっていない。プレイリーダーを児童が行うという活動の形は、学校の実態に合わせた活動の手立ての一つ。

(質問3) 自校で異学年での運動遊びの活動を行っているが、高学年が「支える」に徹してしまいがちである。どうしたらよいか。

→・これまで、異学年での活動を研究してきてはいない。

(文責 記録担当 平井小学校 遠山 信愛義)